



# ーグローバル人材育成プログラムー

## 〈2023年度 第2回〉

### グローバルリーダー養成ワークショップ

(Zoomオンライン開催)

- ◆日程：2023年11月14日(火) 9:30~15:30 (途中昼休憩1時間) 【講義】  
 11月15日(水) 9:30~15:30 (途中昼休憩1時間) 【講義】  
 11月16日(木) 9:30~15:30  
 最終日のプレゼンテーションに向けた準備のためのグループ毎のホームワーク (講義なし)  
 11月17日(金) 9:30~15:30 (途中昼休憩1時間) 【講義】

◆対象：グローバルな環境でビジネスを遂行する立場にあるマネジャークラスの方、海外駐在(予定)の方

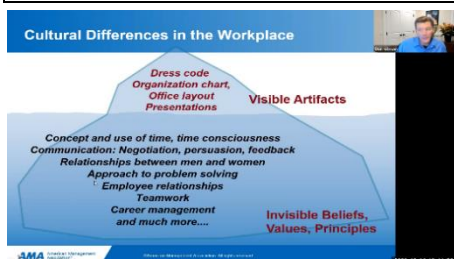
近年、VUCA (V変動性、U不確実性、C複雑性、A曖昧性) の高まりにより、グローバルビジネスの環境が急速に変化しています。新型コロナウイルス感染症の拡大という新たな状況も加わり、変化の大きさとスピードに拍車がかかっています。

従来より、グローバルな環境で業務を遂行するビジネスパーソンには、①未来を戦略的に洞察し現在の行動と未来を結び付ける力、②外部環境の変化に機敏に対応できる柔軟性、③これまで以上に迅速に意思決定し実行する能力、④新しいことを素早く学ぶラーニング・アジリティ、⑤離れた場所で勤務しているチームメンバーとの効果的な協働力、⑥勤務状況/環境が異なる相手に対する共感力、⑦異なる背景や価値観の人材を率いるグローバルリーダーシップなどが求められていましたが、現下の環境では、特に、協働力、共感力、グローバルリーダーシップが、必須の基礎力として重要となっています。

本ワークショップにおいて、参加者は、英語を用いてオンライン環境下でビジネスを疑似体験しながら、上記のビジネス基礎力を学びます。具体的には、架空の米国企業が日本に進出してビジネスを展開することを想定し、そのうえで課題となるマーケット戦略の策定や、組織・人材マネジメントの実践などを、アクションラーニング(※3ページの説明参照)を用いて体験します。

全4日間(各5時間)のオンラインツールを活用したインタラクティブセッションやグループワークを通し、様々なアイデアや気づきを得ます。また、セッションに必要な知識や情報をプレワークで学ぶほか、4日間のうち1日を使って受講者同士でファイナルプレゼンテーションの準備を行います。セッション最終日には、米国本社のエグゼクティブにプレゼンテーションをするという設定でビジネス提案を行います。講座後には、講師から各人のプレゼンテーションに対する評価コメントのフィードバックがあります。

講師は、米国を中心に多くのグローバル企業でグローバルリーダー育成に従事している、Dr. Donald Gilmanが担当します。



一般社団法人 経団連事業サービス  
 協力：クインテグラル株式会社 (AMA)

## 目的

- 国内や社内だけでなく、国外や社外にも目を向け、視野を広げる。
- 異なる文化を理解し、バーチャルな環境下において相手と信頼関係を築くためのノウハウを学ぶ。
- 変化を避けるのではなく、率先してリードする必要性とその方法を学ぶ。
- 日本と海外におけるマネジメントスタイルの違いを理解し、有効な対処方法を見出す。
- グローバルなビジネス環境において、“発信”することの重要性を認識する。
- アイデアを相手に納得させるためのプレゼン力を向上させる。
- 異業種の参加者と様々な意見を共有し、新たな気づきを見出す。

## アウトライン（予定）

日程	内 容	
事前	プレワーク (事前課題)	本ワークショップの準備として、コロナ後の環境で必要とされるグローバル・リーダーシップ・スキルに関連するビデオを視聴いただき、また、記事も読んでいただきます。 <その他> 本ワークショップで得たい成果と直属の上司から期待されている成果を提出していただきます。また、自身の行動スタイルに関する事前評価を行います。 ※別途実施要領をお送りします。
第1日	イントロダクション	本ワークショップの目的と構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バーチャル環境におけるグローバルリーダーシップのコアスキル</li> <li>➢ ワークショップの構成とファイナルプレゼンテーションの概要</li> <li>➢ [ディスカッション]急速に変化する環境と、それがグローバルリーダーにとって何を意味するのかについて</li> </ul>
	モジュール1	英語でのバーチャルコミュニケーションスキル <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バーチャルビジネスカンバセーションの基本(既存の表現、新しい表現)</li> <li>➢ バーチャル環境で誤解されないようにするためにアサーティブな対応をする:バーバルとノンバーバルメッセージ(ボイカル、ビジュアル)</li> <li>➢ オンラインで効果的なブレインストーミングを行う</li> <li>➢ スモールトーク - 受け入れられる話題と受け入れられない話題</li> </ul>
	モジュール2	バーチャル環境における効果的なマネジメント <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ マネジメントスタイルを知る</li> <li>➢ モチベーションと影響力、行動スタイル</li> <li>➢ コンフリクトマネジメント</li> <li>➢ 成長を促す権限委譲</li> </ul>
第2日	モジュール3	バーチャルチームと異文化チームをリードする <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バーチャルチームをリードする</li> <li>➢ 異文化チームをリードする</li> <li>➢ 異文化体験演習(異文化体験とシミュレーション)</li> </ul>
	モジュール4	変化をリードする <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ チェンジマネジメントとは</li> <li>➢ 変化に対する反発に対応する</li> <li>➢ グローバルに分散したチームで率先して変化をリードする</li> </ul>
	モジュール5	バーチャルおよび対面でのプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バーチャル環境でのビジネスプレゼンテーションスキル</li> </ul>

第3日	ホームワーク	最終日のファイナルプレゼンテーション準備を、チームで行う 【講義はありません】
第4日	モジュール6	アクションラーニングとファイナルプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ アクションラーニングとプレゼンテーションワーク</li> <li>➤ ファイナルプレゼンテーション</li> </ul>
	モジュール7	アクションプランニングとラップアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 継続的な学習と改善のためのアクションプラン作成</li> <li>➤ ラップアップ</li> </ul>
※後日、講師から各受講者にファイナルプレゼンテーションに対するフィードバックコメントをお送りします		

### WHAT IS ACTION LEARNING?

アクションラーニングとは、実際の問題を取り上げ、その解決策について検討・立案していくビジネスシミュレーション方式の学習法です。アクションラーニングでは、最適な解決策を考えることも重要ですが、むしろ解決策を立案していくまでの過程が重要で、様々な検証や他者との議論を通じて、発想の転換や気づきを生み出します。本プログラムでは、知識の習得を行った後に、架空の会社のケースを用いたアクションラーニングを通して実践力向上を図ります。

■本ワークショップは、アメリカンマネジメントアソシエーション(AMA)のプログラムで構成しています。AMAは、1923年に米国で創設されたマネジメント研修の分野で世界を代表する国際教育研修機関です。現在日本では、クインテグラルの社名にて、AMAのサービスを提供しています。

## 講 師

Dr. Donald Gilman (クインテグラル/ AMA 講師)



【略歴】米国カリフォルニア在住。技術経営の理学修士、組織変革で博士号を取得。General Motors や Robert Bosch GmbH において、専門的な技術指導やマネジメント業務に従事。Robert Bosch ではドイツ勤務を経験。現在はグローバル実務経験を活かし、世界各国でグローバルリーダー育成に注力している。

【Donald Gilman 講師 Web サイト】

<http://www.dongilman.com/>

【講師紹介ページ】

<https://www.quintegral.co.jp/training/trainer/don-g/>



## 参加要領

- ◆ 使用言語： 英 語 (TOEIC の目安： 6 5 0 点以上)  
(第3日のホームワークを除き) 講義およびグループディスカッションは全て英語で実施します。
- ◆ 参加費： 一人あたり 1 3 2, 0 0 0 円 (本体 120,000 円+消費税 12,000 円)
- ◆ 定 員： 2 0 名 (原則、先着順)

## 参加者の声

### ■全体の感想■

- 座学、グループに分かれての討議、プレゼンテーションの時間配分やバランスが良く、あっという間の4日間だった。私自身米国に7年間の駐在経験があるが、納得して再確認ができ、また、他の国の事例や情報を知る事ができて得られるものが多かった。
- イメージしかなかったグローバルビジネスについて、より具体的に理解を深めることができた。初めは緊張したが、講座が進むにつれて失敗を恐れずにチャレンジすることができた。
- 外国人（米国人）講師による講座で説得力があった。マインドに関する内容からすぐに使えるテクニックまで幅広く取り上げていただき大変有益な内容だった。

### ■内容について■

- グローバルリーダーに必要な異文化の理解や前向きな自己主張、リードしていく為に必要なことを学び、且つ、グループセッションやプレゼンテーションで活用する事により、自らに深く落とし込むことができた。
- はじめは受け身のままで最後まで終わってしまうのではないかと考えていたが、最後はチームメイトと意見を出し合い、プレゼンテーションにも前向きに取り組むことができた
- Non Japanese の考え方、Assertiveness の重要性、Conflict への対応などを理解することができた。

### ■講師について■

- 自身のグローバルな体験事例を踏まえた説明も多く、講義内容の理解が深まった。日本にも詳しく、日本とグローバル（日本以外）の違いの説明も説得力があった。
- 分かりやすく丁寧に講義いただいた。英語能力がそれぞれ異なる受講者に合わせた対応をされており全ての受講者にとって有意義な講座だったと感じる。
- 受講者一人一人をしっかりと見ていただいた。意見を述べた際にもいいリアクションをいただけたため自信にもつながった。

## 主な参加企業（2011年度～2023年度第1回）（五十音順：会社名は当時のもの）

IHI/曙ブレーキ工業/旭化成/旭硝子(AGC)/朝日航洋/アジレント・テクノロジー/あすか製薬/梓設計/アフラック生命保険/イオン/伊勢化学工業/伊藤忠商事/インサイト・バイオサイエンス・ジャパン/インターネットイニシアティブ/ヴィエムウェア/SCSK/エスビー食品/NTT 国際通信/NTTコミュニケーションズ/NTTデータ/NTT リミテッド・ジャパン/ENEOS/大塚製薬/大林組/オクサリスケミカルズ/オリンパス/カシオ計算機/鹿島建設/キヤノン電子/キリンホールディングス/クインテグラル/グローバルプロデュース/KDDI/建設技術研究所/鴻池運輸/神戸製鋼所/小松製作所/酒井重工業/サッポロビール/山九/JSR/JFEエンジニアリング/静岡ガス/昭和電工/昭和電線ケーブルシステム/新生銀行/新東工業/新菱冷熱工業/スズクホールディングス/住友ゴム工業/住友商事/住友ベークライト/住友林業/セガ/セガサミーホールディングス/大成建設/大日本住友製薬/太平洋セメント/大鵬薬品工業/タス/中外製薬/千代田化工建設/TSUCHIYA/TIS/TDK/帝国ホテル/帝人/デロイト・トーマツ税理士法人/電源開発/東京電力ホールディングス/東燃ゼネラル石油/東陽/凸版印刷/トピー工業/中日本高速道路/西松建設/ニチレイフーズ/日揮/日揮グローバル/日建設計/日新/日鉄興和不動産/日本経済団体連合会/日本航空電子工業/日本工営/日本触媒/日本通運/日本バイリーン/日本フェルト/日本メトロニック/日本ユニシス/野村総合研究所/パナソニック/バンドー化学/日立コンサルティング/日立ビルシステム/ファイザー/フコク/フジタ/富士電機/HOYA/前田建設工業/丸紅/三井金属鉱業/三井住友海上火災保険/三井造船/ミツウロコグループホールディングス/三菱ケミカル/三菱ケミカルメタクリレーツ/三菱重工業/三菱商事/三菱製鋼/ミライト/山田コンサルティンググループ/山田ビジネスコンサルティング/ユアサ商事/郵船ロジスティクス/横河電機/ライオン/ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ/リコー

【お申込み・お問合せ先】

経団連事業サービス 研修グループ

E-mail: [global@keidanren-jigyoservice.or.jp](mailto:global@keidanren-jigyoservice.or.jp)  
TEL: 03-6741-0042 / FAX: 03-6741-0052

